

# あいち農産物生産流通レポート

令和2年3月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 在京流通行政連絡会の活動について (東京事務所)	1
◎ 地域トピックス	
・ 東海市で「東海フラワーショウ2020」開催 (知多農林水産事務所)	2
◎ 東日本情報	
・ 首都圏量販店でのミニトマトの食べ比べ&人気投票 (東京事務所)	3
◎ 西日本情報	
・ 県産農林水産物のイメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組 (食育消費流通課)	5
◎ フラワーページ	
・ フラワーバレンタインプロモーションについて (園芸農産課)	7
・ 関東東海花の展覧会でかがり弁ぎくをPR (東京事務所)	8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	22

## 内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## 在京流通行政連絡会の活動について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

在京流通行政連絡会（以下、在京）は、東京に事務所を置き農産物の流通に携わる行政機関で組織された会です。現在 22 県で構成され、行政業務の情報交換や農産物流通に関する取組の情報収集等を行っています。

### 1 情報交換会で各県の取組状況を把握

在京の情報交換会では、テーマを決めて各県の担当者が取組状況などを紹介し合い、相互に理解を深めています（表 1）。例えば、農林水産物プロモーション活動の効果測定では、「マネキンの実績報告書の活用」、「量販店の POS データの分析・活用」「担当者が張り付いての聞き取り調査」といった各県の確認方法が紹介され、具体的な効果測定の手法を確認できたほか、各県のプロモーション内容を把握し、今後の活動方針の参考とすることができました。

**表 1 在京に所属する各県**

青森	秋田	山形	福島	茨城
栃木	群馬	千葉	山梨	長野
愛知	奈良	徳島	香川	愛媛
高知	佐賀	長崎	熊本	大分
宮崎	鹿児島			

### 2 視察研修会で流通に関する取組を学ぶ

在京では、主に流通面の特徴的な取組を情報収集するため、現地に赴き視察研修を行っています。本年度は野菜のストックコントロール及び業務用加工をテーマに、埼玉県にある青果物の中間流通業者を視察しました。

この視察では、野菜のストックコントロールが可能な物流拠点の重要性について説明を受けたほか、物流業界では労働力不足や働き方改革などの動きがあり、一時保管などの作業効率の改善が求められていることを学びました。



**ストックポイントに保管された野菜**

### 3 講演会で先進事例を学ぶ

在京では、様々な講師を招いた講演会も開催しています。本年度は、間近に迫ったオリンピックに関連し、食材の調達基準となった GAP についての講演会を行いました。その中で講師は、GAP は農業分野における食品の安全、環境汚染防止、労働の安全管理、雇用といった問題の解決策であり、自身の農場で問題を起こさないための道具であること、消費者・環境・従業員を大切にする仕組みであることを強調されました。

在京では、様々な切り口から流通に関する情報、時節に合った情報を収集しています。また、会員同士の情報交換を行うことにより、それぞれの県の取組や悩みを情報共有でき、首都圏での活動に大いに刺激を受けています。

## 東海市で「東海フラワーショウ2020」開催

知多農林水産事務所

令和2年1月25日(土)、26(日)の2日間、東海市民体育館において「東海フラワーショウ2020」が開催されました。28回目を迎えた今年度は、東海市の市制50周年の特別企画もあり、2日間で28,000人が訪れ、賑わいました。

### 1 フラワーショウの目的

このフラワーショウは、東海市の花と緑を一堂に展示することにより、それぞれの品種の個性、栽培技術を再認識し、さらに技術を向上させること、また、市民の花と緑に対する理解を深め、「洋ランのまち東海市」を市内外にPRすることを趣旨として毎年開催されています。

今年は、東海市の市制50周年を記念し、東海市らんの花大使・春風弥里氏による子供向け職業体験イベントが開かれました。

また、家庭で花を飾ることをイメージした50周年記念特別ブース兼イベントステージが設置され、NHK「趣味の園芸」等で著名な天野麻里絵氏による寄せ植え教室や江尻宗一氏による園芸教室も開かれました。

### 2 展示、体験の内容

会場内では、1月23日(木)のフラワーコンテスト審査で決定された最優秀賞はじめ上位3点及び特別賞9点の洋ランが、中央のメインブースに展示されました。

即売コーナーでは、洋ラン・球根・切花等が販売され、多くの人が買い求めていました。

また、押し花やちぎり絵作品が展示され、生花だけでなく作品の展示でも、目を楽しませてくれました。

園芸相談、押し花体験教室、コケ玉体験教室が行われたほか、長く鑑賞でき、おしゃれなインテリアとして話題のハーバリウム(ドライフラワーを特殊なオイルで瓶詰めにしたもの)体験教室も行われ、賑わいをみせていました。



メインブースでの展示



子供向け職業体験



講師による園芸教室

## 首都圏量販店でのミニトマトの食べ比べ&人気投票

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2月8日（土）、東京都品川区にある大崎ニューシティビル内、ライフコーポレーション大崎ニューシティ店前のイベント広場において、大村秀章愛知県知事及びJ A代表者らによる農産物トップセールスが開催され、県産農産物のPRや来場者への花束プレゼント等が行われました。

また、会場には、カラフルで形の異なったミニトマト8種による「食べ比べ&人気投票」のブースが設けられ、多様な見た目と個性豊かな風味が来場者を驚かせました。気に入ったミニトマトに一票を入れる来場者参加型イベントの概要と結果を紹介します。



大村知事による来場者への花束配布



愛知県フェアのミニトマト

### 1 「選べる愛知のミニトマト」をPR

愛知県のトマト類は、種類が多く、レギュラー商品の他にも各産地が競い合うように「高糖度トマト」や「ファーストトマト」、「良食味のカラフルミニトマト」など、バラエティに富んだ商品を京浜市場に出荷しており、『自分の好みに合わせて選択ができる』ことも特徴の1つになっています。

J A豊橋のミニトマト「あまえぎみ」は、カラフルな色や形など様々な種類があり、目で楽しむことができる他、それぞれの種類で味わいや食感が異なり、フルーツのような甘味やさわやかな酸味などが楽しめます。

今回のトップセールスではこのあまえぎみ7種に加え、食味バランスに定評のある高糖度ミニトマト「美(び)」を加えた8種の食べ比べと人気投票が行われました。

表1 エントリー8商品の概要

	商品名	(形状)	説明文	甘味	酸味
あまえぎみ	イエロー	(丸)	食べやすい薄皮に絶妙な甘酸味バランス	☆☆	★★
	オレンジ	(丸)	パリッとした食感	☆☆	★★
	グリーン	(丸)	緑色だけど完熟	☆☆	★
	チョコ	(丸)	しっかりとした肉厚感と果汁	☆☆	★★
	クレア(黄)	(楕円)	楕円形の新感覚ミニトマト酸味の苦手な方にオススメ!	☆☆☆	★
	クレアオレンジ	(楕円)	甘味と酸味のバランス	☆☆	★★
	クレアレッド	(楕円)	一粒食べれば後に引く存在感トマト好きにオススメ	☆☆	★★★
	美(び)	(丸)	水を控えて我慢強く育てます甘さ引出し安心のバランス感	☆☆☆	★★

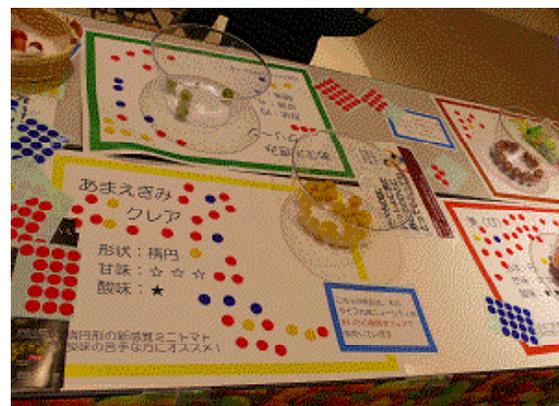
## 2 来場者参加型に、大人を喜ばせる(楽しませる)ために

人気投票企画は、記憶・印象に残る来場者参加型のイベントとするため、量販店等との協議の中から提案され、食べ比べをした人が「自分の一番気に入ったミニトマト」の台紙にシールを貼る形で行われました。この「シールを貼る」行動は、子供よりも大人が楽しむことができる企画となるようで、実際の会場でもシールを持った大人が喜々として好みのミニトマトを探す姿が見受けられました。来場者にとって「無料提供されるものでなく投票に対する対価」になることや「自分の意見が結果に反映される」ことで、食べ比べに参加するハードルを下げる効果があるのかもしれません。

当日は、スタッフが呼び込みと来場者の食べ比べを補助しました。当初は、机の容器から商品を取ってもらう設置型でしたが、イベントに慣れたスタッフから「置いてあるだけでは手を出さない」との指摘があり、スタッフがカゴに小分けして来場者に持っていき、呼び込みと同時に最初の1つに手を出してもらう工夫がされました。これにより呼び込みがスムーズに行えることに加え、来場者のアテンドや会話のきっかけとなり、充実したものとなりました。一方で、スタッフの負担(拘束時間)は増えるため、適正な配置人員や手の空いたスタッフによるフォロー体制が今後の課題となりました。



説明しながら食べ比べ (206名が投票)



女性→赤、男性→青、子供→黄で投票

## 3 人気投票結果

人気投票の結果は、酸味が弱く甘さが強調される「クリア」が全体の3割の支持を受けトップに、次いで食味バランスの良い高糖度系の「美」が続きました(表2)。性別・世代別では、女性は票が割れましたが、男性は上記2種に加えて、見た目インパクトがあり風味も強い「グリーン」も人気で、逆に子供には糖酸のバランスが良い「クリアオレンジ」が人気でした。

表2 対象别人気投票結果(割合)

商品名 (形状)		女性	男性	子供	全体
あまえぎみ	イエロー (丸)	6%	4%	4%	5%
	オレンジ (丸)	1%	0%	7%	2%
	グリーン (丸)	11%	22%	13%	13%
	チョコ (丸)	10%	0%	2%	7%
	クリア (黄) (楕円)	32%	41%	18%	30%
	クリアオレンジ (楕円)	11%	7%	27%	14%
	クリアレッド (楕円)	6%	0%	7%	5%
美 (び) (丸)		22%	26%	22%	23%

女性は自分の好みを細かく自覚している印象があり、男性は「酒の肴」という言葉が出るなど、味を強調した品種の需要がうかがえました。子供は大人男性と対象的に酸味や風味にとがった特徴を持たない、バランス型の品種が好まれるようです。

また「イエロー」「オレンジ」への投票は伸びませんでした。これらはライフ大崎店で常時取扱のある定番商品であること、昼過ぎのイベントで8種全ての試食が難しく、多くの来場者が珍しい品種から試食していることに起因すると思われる。

## 県産農林水産物のイメージアップと本県主要品目のブランド力強化の取組

食育消費流通課

愛知県には、全国トップレベルのブランド力を持つ名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎなどの他、産出額等が全国上位の農林水産物が多数ありますが、それらの知名度は必ずしも高くありません。

このため本県では、愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を活用して主要品目のさらなるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップに加え、本県開発の次代を担う品目・品種のブランド化を推進しています。

### 1 2019年度いいともあいちブランド力強化事業の取組

#### (1) SNS等を活用したイメージアップ情報の発信

近年、大幅に利用者が増加しており、情報の拡散効果も期待できるSNS（Instagram）を活用し、人気のインフルエンサーによる県産農林水産物を使用したレシピ投稿、メニューフェア告知により、県産農林水産物の多様性、優良品性をアピールしました。

#### (2) 県産食材を使用したメニューフェアの開催

国内最大級のグルメサイト（食べログ）とタイアップし、東京都内の飲食店20店舗で、うなぎ、名古屋コーチン、あさり、小麦（きぬあかり）、抹茶を使用したオリジナルメニューを提供するフェアを開催しました。（2019.11.5～12.4）

フェアでは、サイト内の料理を通じて県産食材をPRするとともに、メニューフェアの協力店に食材を実際に利用してもらうことでその優良品性を知っていただきました。

#### (3) トップセールスの実施

首都圏において、知事及び県内農業団体代表者によるトップセールスを皮切りとした販売促進フェアを行い、県産農林水産物を入手できる場を提供しました。（2020.2.8、ライフコーポレーション 大崎ニューシティ店（東京都品川区））

会場では、バラ等を使った県産花きの花束のプレゼントやミニトマトの食べ比べなどを行い、首都圏の消費者に県産農林水産物をPRしたほか、ライフ各店ではトップセールスに併せて「あいちの春野菜フェア」も開催されました。

#### (4) 主要品目のブランド力強化

名古屋コーチン、花き、抹茶、あさり、うなぎといった本県が誇る主要品目について、イベント等の実施を通じて、それぞれの魅力を県内外に向けて発信しました（表1）。



愛知県産うなぎの魅力を、名古屋コーチンの味わいを、  
提供するだけでなくお料理が際立つる魅力のある食材に選ばれる愛知県。  
その魅力を食で楽しむことができます。  
無料で楽しむ愛知の味をぜひ味わってください。

レストラン紹介 愛知県産品の魅力 メディア情報



### グルメサイトの メニューフェア特集ページ



### 知事トップセールス

表1 主要品目のブランド力強化実施状況

品目	実施状況	
名古屋コーチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋コーチンの日(3月10日)の定着を図る消費拡大イベントの開催。</li> <li>期日：2020年3月10日(火)～15日(日)</li> <li>場所：名古屋市農業センターdelaふぁーむ</li> <li>※新型コロナウイルスの感染防止のため、中止となりました。</li> </ul>	
花き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレンタインデーに男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」運動を推進するPRイベントの開催。</li> <li>【東京】期日：2020年2月8日(土)</li> <li>場所：銀座三越(東京都中央区)</li> <li>【県内】期日：2020年2月8日(土)・9日(日)</li> <li>場所：mozoワンダーシティ(名古屋市西区)</li> <li>・県本庁舎に「あいちおもてなし花壇」を設置。</li> </ul>	
抹茶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事が席主となり、お茶の振興に携わる方や茶道を学ぶ学生、各業界の代表者等を招待する「第8回愛知県茶会」を開催。</li> <li>期日：2019年11月9日(土)</li> <li>場所：愛知県公館(庭園)</li> </ul>	
あさりうなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の産地を巡って、写真の投稿や動画の視聴をしていただく「～撮っとク・観とク～あいちのおさかなスポットラリー」を開催。</li> <li>期日：2019年7月15日(月・祝)～12月31日(火)</li> </ul>	

(5) 次代を担う品目・品種のブランド化の取組

主要農業県としての地位を維持し続けるため、新たなブランド品目になることが期待される、本県が開発した次代を担う品目・品種について、知名度向上に向けた取組を実施しました(表2)。

表2 次代を担う品目・品種の取組

品目・品種	内容
夕焼け姫 (カンキツ新品種)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルマークの作成</li> <li>・特設Webページ作成</li> </ul>
かがり弁ギク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントでの展示、PR</li> <li>・東海関東花の展覧会での展示、花束配布等</li> <li>(2020.1.31～2.2 サンシャインシティ文化会館(東京都豊島区))</li> </ul>



## フラワーバレンタインプロモーションについて

園芸農産課

### 1 フラワーバレンタインについて

バレンタインデーは、日本では「女性から男性へチョコレートで愛や感謝を伝える日」として定着していますが、世界の多くの国では、男女がお互いに愛や感謝を伝えあう日として、メッセージカードとあわせて、花を贈ることが最もポピュラーとなっています。

そこで、日本においてもバレンタインデーに男性から女性へ花を贈る文化が定着することを目指し、(一社)花の国日本協議会が、平成23年度から全国統一キャンペーンとして「フラワーバレンタイン」を推進しています。

### 2 愛知県の取組

花の生産日本一の愛知県では、「フラワーバレンタイン」を新たな県産花きの需要拡大の機会と捉えて、その普及とあいちの花のPRを目的に、平成23年度から花き関係団体等と「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を組織し、様々な取組を行っています。平成26年度からは愛知県知事が参加して東京都内と愛知県内でPRを実施しており、本年度も東京都内及び県内で県産花きを用いたプロモーションを展開しました。

#### (1) 東京都内でのプロモーションについて

令和2年2月8日(土)に、銀座三越(東京都中央区)9階 銀座テラス内で「花男子プロジェクトによる花贈りパフォーマンス with あいちの花」として、花男子プロジェクトによるフラワーアレンジ及び花贈りパフォーマンスを行いました。本イベントでは、知事が選んだ花でブーケを制作し、会場において選ばれたカップルの男性から女性へメッセージと共に贈られました。

また、2月9日(日)は、「あなただけのスイートブーケ with あいちの花」と題し、あいちの花を使ったオリジナルブーケ作りを実施しました。



東京での花贈り  
パフォーマンス

#### (2) 愛知県内でのプロモーションについて

令和2年2月8日(土)、9日(日)に、mozo ワンダーシティ(名古屋市西区)1階 イーストコート内において、フラワーギフトの販売、「花男子プロジェクト」による花贈りパフォーマンス、生花店の有志によるパフォーマンス集団「フラッピー758」によるステージイベント、フラワーアレンジメントの制作体験などを実施しました。また、9日には大村知事が「花男子プロジェクト」とともに3組の花贈りを実施し、あいちの花とフラワーバレンタインのPRを行いました。



名古屋での花贈り  
パフォーマンス

そのほかにも、フラワーパーク江南(江南市)や、蔵王山展望台(田原市)等でもコラボイベントが開催されるなど「フラワーバレンタイン」の普及・定着を促すことができました。

## 関東東海花の展覧会でかがり弁ぎくをPR

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

令和2年1月31日（金）から2月2日（日）にかけて、豊島区東池袋のサンシャインシティ文化会館で第69回関東東海花の展覧会が開催されました。同展覧会では、関東東海地域の各都県が自分たちの花き産地をPRする「産地紹介コーナー」等の場が設けられ、愛知県ではかがり弁ぎくのPRを行いました。

### 1 産地紹介コーナーでかがり弁ぎくをPR

かがり弁ぎくは、愛知県農業総合試験場と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が共同で開発した輪ぎくです。白・黄・赤紫の3品種があり、花卉の形状から華やかな雰囲気が楽しめ、アレンジメントやブーケ等、仏事以外での需要が期待されます。

産地紹介コーナーでは、関東東海花の展覧会に参加する12都県がそれぞれの花を利用したフラワーアレンジメントや新品種の展示等を行いました。愛知県ではかがり弁ぎくをPRしましたが、愛知県コーナーでは、松等を組み合わせた和風のデザインと、洋食器等を組み合わせた洋風のデザインでかがり弁ぎくを展示し、来場者の目を引いていました。

### 2 会場では他にもかがり弁ぎくが！

関東東海花の展覧会では、花の装飾展示や産地紹介コーナーなどの他に品評会も行われますが、その中のきく部門で「かがり弁黄」が出品され、愛知県知事賞を受賞しました。

また、今回は今年行われる東京オリンピックにちなんでビクトリーブーケをイメージした展示が行われましたが、愛知県は「かがり弁白」を用いた特徴的なブーケを展示しました。

その他、かがり弁ぎくに関するアンケートに答えていただいた方へプレゼントも行い、多くの来場者にPRすることができました。

関東東海花の展覧会は、日本で最大級の展示会であり、多数の来場者が訪れます。その中で評価されたり、人の目に触れたりすることで、かがり弁ぎくの認知度が向上したと思われま



産地紹介コーナーでの展示



愛知県知事賞を受賞



ビクトリーブーケ

## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	406	376 (93%)	294	285	岐阜 ( 4 % ) 徳島 ( 3 % )
2年見通し	370	—	280	—	—
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
2月上旬から促成物の入荷が始まった。生育はやや遅れ気味で、暖冬の影響により細物が多いとの話が聞かれたものの、2月末時点では予想より太物も出ている状況。作柄は順調だが、栽培面積が減少しているため、3月の入荷は前年を下回る見通し。価格は野菜全般が安値推移しており、それに引き摺られるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。			生産者と栽培面積が減少傾向にあり、市場への入荷量も減少している。量販店等での売場を確保するには、安定した入荷が必要となるので、産地での出荷維持をお願いしたい。また、春商材としてふきの需要が高い時期にもなるため、正確な出荷情報の提供をお願いしたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
元年実績	865	662 (77%)	328	327	群馬 ( 19 % ) 千葉 ( 1 % ) 岩手 ( 1 % )
2年見通し	800	—	340	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
愛知産は初夏から夏場を除く10～5月に入荷し、3、4月と12月にピークとなる。前シーズン同様、本シーズンも暖冬傾向で推移したことから、必要な低温を得られず生育はやや遅れ気味。例年ならば3月上旬には春筍の1回目のピーク、4月下旬には2回目のピークとなるため、そのタイミングに入荷増を合わせられるかがポイントとみられる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。			愛知産のふきは、春商材として業務だけでなく量販店からの引き合いも強い。一方で、栽培面積は他県産を含め年々減少している。本年は春筍が表年になると思われる。ふきにとっては春筍料理の如何で需要の大きさも変わるため、期待したいところである。 前年のジェットパック（簡易包装）の試験販売は、年々減少している産地を守る取組であり、市場としても消費者の掘り起こしと並行して付加価値の向上を目指していきたい。		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	27年	34,806	229	219	247	223	愛知 25%
	28年	33,341	244	252	241	237	北海道 19%
	29年	32,937	236	236	237	231	鹿児島 9%
	30年	34,937	229	254	229	204	茨城 7%
	31年	33,666	206	213	208	195	静岡 5%
	5ヵ年平均	33,937	229	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	34,100	196	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道を中心に入荷する。根菜類や葉菜類は入荷の前倒しで終了時期が早まるが、後続産地も前進傾向。果菜類は気温と日照時間の上昇に伴い、順調に増量する見込み。全体では安値傾向が続くか。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	27年	1,756	86	88	84	93	千葉 44%
	28年	1,593	101	91	100	114	静岡 22%
	29年	1,508	102	99	98	113	鹿児島 18%
	30年	1,823	124	176	114	92	神奈川 6%
	31年	1,500	77	72	79	86	徳島 3%
	5ヵ年平均	1,636	99	107	95	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、静岡、鹿児島などから入荷する。暖冬で全国的に10日～2週間ほど前進している。秋冬作の終了が早まり、3月入荷は平年より減少するか。気温が上がると消費が落ちるため、価格は安値が続く見通し。入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。							
にんじん	27年	1,907	119	90	122	142	徳島 67%
	28年	1,822	122	103	124	138	愛知 25%
	29年	1,787	167	156	167	175	鹿児島 5%
	30年	1,138	244	218	250	272	長崎 2%
	31年	1,756	118	112	131	109	熊本 1%
	5ヵ年平均	1,682	147	129	151	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,700	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島、愛知を中心に入荷する。愛知産は潤沢だが、暖かい気候で品質低下する時期が前進し、切り上がり及早まるか。徳島は生育順調で上旬から入荷が始まり、下旬にはかなりの数量が出てくる見通し。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年並となる見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	27年	129, 212	256	250	260	257	千葉 15%
	28年	123, 552	277	275	273	281	茨城 12%
	29年	127, 734	261	253	263	266	愛知 12%
	30年	130, 737	259	286	243	245	北海道 9%
	31年	123, 182	230	227	228	235	神奈川 7%
	5ヵ年平均	126, 883	257	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	131, 000	220	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>秋冬作から春作への切り替わりの時期となる。暖冬による生育の前倒しにより引き続き潤沢な入荷が見込まれる。一部品目では端境が懸念されるも、後続産地も早まることから影響は限定的と見込まれる。  入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	27年	13, 301	80	87	73	77	神奈川 51%
	28年	11, 524	94	80	87	113	千葉 42%
	29年	12, 181	94	94	87	98	鹿児島 3%
	30年	12, 250	116	169	105	82	福岡 2%
	31年	9, 739	76	76	70	84	長崎 1%
	5ヵ年平均	11, 799	92	102	85	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	11, 000	75	70	70	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>神奈川、千葉を中心に入荷する。気温が高く、トンネル物の肥大とそれに伴う規格外品も発生している。生育前進で切り上がり早まると予想され、前半は肥大を含め入荷潤沢も、後半は収束し数を減らすか。  入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
にんじん	27年	7, 397	111	95	112	123	徳島 47%
	28年	7, 774	116	105	122	121	千葉 40%
	29年	7, 404	179	183	181	175	埼玉 3%
	30年	6, 034	197	179	203	212	茨城 3%
	31年	7, 566	107	103	113	103	鹿児島 2%
	5ヵ年平均	7, 235	140	131	144	144	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7, 300	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、徳島を中心に入荷する。千葉は暖冬で肥大が進むも、台風の影響で欠株や下位等級の発生が目立つ。収穫が早まっており、中旬には終了する見込み。徳島は前進傾向で、後半に向かい量を増やす。  入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	27年	2,369	89	76	107	89	茨城 24%	
	28年	1,894	116	105	126	120	長崎 23%	
	29年	2,033	124	103	121	151	兵庫 19%	
	30年	2,079	133	156	121	116	三重 12%	
	31年	2,045	64	51	67	73	熊本 11%	
	5ヵ年平均	2,084	105	98	108	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	2,000	70	70	70			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>長崎、茨城、兵庫などから入荷する。長崎、茨城の春はくさいはともに順調な入荷を見込む。愛知は秋冬作の残量が出てくるが、気温が高く2月時点で芯腐れなどの生理障害が見られ、3月の数量は少ないか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>
	さい							
	キャベツ	27年	4,815	71	69	75	73	愛知 96%
28年		4,576	76	79	73	80	兵庫 1%	
29年		3,714	115	120	112	118	滋賀 1%	
30年		4,010	128	185	118	102	神奈川 1%	
31年		4,535	54	57	48	59	千葉 1%	
5ヵ年平均		4,330	87	99	83	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		4,500	60	60	60			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>愛知主体の入荷となる。愛知は前進傾向で、特に春系はかなり進んでいる。3月は前倒しによる潤沢な入荷が予想されるが、中下旬頃から数量が減少し、4月は反動による入荷減が懸念される。入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>	
ツ								
ほうれんそう		27年	339	488	443	547	502	愛知 57%
	28年	301	545	622	460	569	茨城 27%	
	29年	372	387	333	414	437	岐阜 8%	
	30年	489	350	374	319	373	静岡 3%	
	31年	330	377	335	358	465	徳島 2%	
	5ヵ年平均	366	420	412	411	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	380	380	380	380	380		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>愛知を中心に茨城などからも入荷する。愛知は前倒し入荷しており、切り上がりは若干早い。他産地も前進傾向で、秋冬産地の終了は早い。後続産地も前進しており、安定した入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並となる見込み。</p>
	そう							

東京都中央卸売市場

2月28日現在

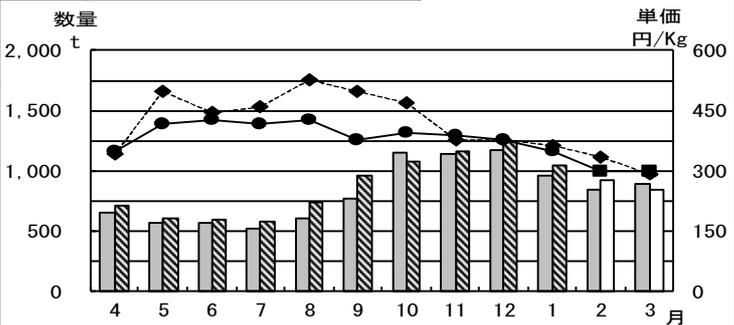
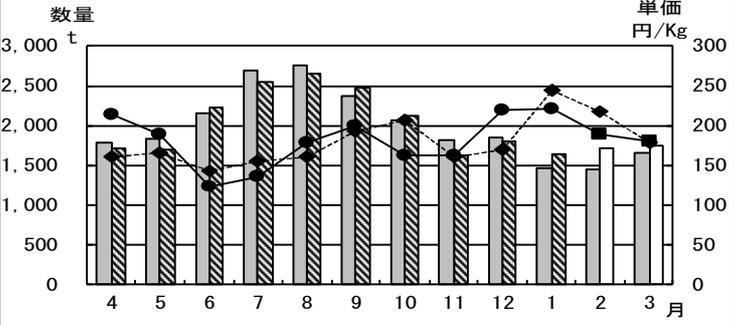
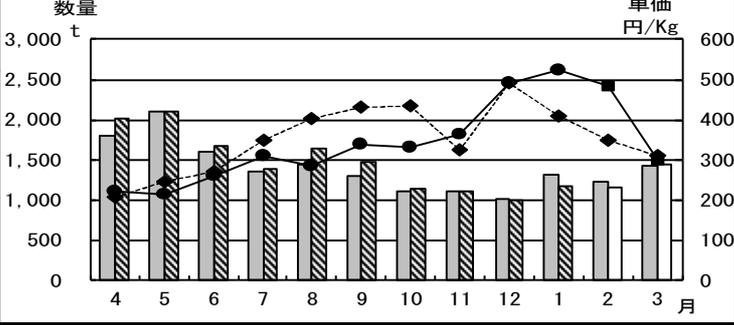
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうとう	27年	8, 213	75	59	85	83	茨城 59%	
	28年	6, 638	110	80	126	128	兵庫 27%	
	29年	7, 238	130	99	127	175	群馬 7%	
	30年	7, 959	135	159	122	113	長崎 4%	
	31年	7, 420	46	38	42	60	埼玉 2%	
	5ヵ年平均	7, 494	99	88	100	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	7, 100	60	60	60			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫からの入荷が中心となる。主力の茨城で品質劣化が懸念されるも、後続産地からの入荷に加え、暖冬による荷動きの悪さも重なり、品薄気味だが相場の上昇は期待薄と見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	キャベツ	27年	19, 246	76	67	77	84	愛知 58%
28年		16, 826	90	87	87	96	神奈川 21%	
29年		17, 423	124	119	124	128	千葉 18%	
30年		17, 665	139	183	124	118	茨木 1%	
31年		19, 841	62	64	57	66	静岡 1%	
5ヵ年平均		18, 200	97	103	93	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2年見通し		20, 000	50	50	50			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、神奈川、千葉からの入荷がほとんどを占める。主力3県は引き続き潤沢な入荷を見込む。加えて高い気温から一部産地では病害虫の発生も見られ、相場が持ち直す環境は整っていないか。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう		27年	1, 525	462	385	529	493	茨城 46%
	28年	1, 231	551	564	501	584	群馬 25%	
	29年	1, 461	399	336	453	430	埼玉 11%	
	30年	1, 722	389	382	368	421	千葉 9%	
	31年	1, 495	357	307	362	418	栃木 3%	
	5ヵ年平均	1, 487	426	389	439	464	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1, 500	350	340	350	360		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。一部産地ではこれまでの前倒し傾向から切り上がり及早まる見込みだが、一方で多収品種への切り替わりも進んでおり不足感ない入荷が続く。</p> <p>入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	868	327	337	340	330	大分 32%
	28年	812	388	398	399	392	静岡 15%
	29年	741	411	416	406	412	愛知 11%
	30年	766	424	484	413	374	鳥取 9%
	31年	892	293	298	288	302	群馬 7%
	5カ年平均	816	365	383	366	359	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	850	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>大分、静岡、愛知、鳥取などの各産地から入荷する。各産地ともに生育良好で、太物が入荷される見通し。愛知の作況も良好で、潤沢な入荷が見込まれる。一方、前進しているため、下旬は減少傾向となるか。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をわずかに上回る見込み。</p>					
し	27年	1,784	244	237	257	237	茨城 46%
	28年	1,617	293	353	264	277	兵庫 23%
	29年	1,813	198	184	212	205	長崎 11%
	30年	2,086	182	231	154	162	熊本 7%
	31年	1,661	178	166	168	205	愛知 6%
	5カ年平均	1,792	217	233	209	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,750	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫を中心に入荷する。各産地とも暖冬傾向でかなり前進しており、上旬には秋冬作と春作の間の端境も予想される。ただ今後中心となる茨城も前進しており、中下旬には入荷ピークを迎える見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>					
きゅう	27年	1,285	376	441	412	310	愛知 62%
	28年	1,445	309	329	320	298	高知 13%
	29年	1,450	268	280	284	250	宮崎 12%
	30年	1,582	285	293	291	272	鹿児島 7%
	31年	1,428	312	325	333	281	群馬 5%
	5カ年平均	1,438	308	330	325	281	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,450	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に高知などからも入荷する。愛知は果実肥大が進まず、作況は良くないが、日照があれば3月は回復するか。西南暖地も増量する見込み。関東産地の春作は作柄良好で、やや早めの入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	27年	4,697	302	307	307	291	千葉 43%
	28年	4,722	365	355	382	359	埼玉 18%
	29年	4,493	382	385	382	379	茨城 14%
	30年	4,562	420	508	407	344	栃木 5%
	31年	4,564	279	321	271	251	群馬 4%
	5ヵ年平均	4,608	349	375	350	325	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	4,700	230	230	230	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉県など関東産地からの入荷が中心となる。生育は概ね順調。暖冬で降霜被害がない反面、品質は低い傾向。また入荷量に対し鍋需要などの引き合いが乏しく、相場が弱いことが懸念材料か。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
しめじ	27年	7,799	233	236	243	220	茨城 50%
	28年	7,312	279	344	243	258	静岡 12%
	29年	7,739	184	171	191	193	兵庫 9%
	30年	9,702	168	221	136	147	香川 7%
	31年	7,274	167	163	157	183	栃木 7%
	5ヵ年平均	7,965	204	226	191	197	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,900	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に静岡、香川などからの入荷となる。生育が前進化した影響で産地間の切り替わりは早まるが、後続産地の入荷も早まることから端境なくリレーされて潤沢となる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅうり	27年	5,715	402	478	423	327	群馬 24%
	28年	6,593	336	349	352	316	宮崎 19%
	29年	6,556	283	291	292	273	埼玉 16%
	30年	6,760	307	313	307	300	千葉 15%
	31年	5,841	330	352	360	287	茨城 12%
	5ヵ年平均	6,293	330	353	344	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,100	320	350	330	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、宮崎、埼玉、千葉などからの入荷が中心となる。各産地で日照不足の影響により遅れや落花などの生育不良が見られるが、元々増量時期であることと荷動きの鈍さから不足感はないか。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	27年	624	401	418	410	387	熊本 52%
	28年	703	391	398	396	384	愛知 43%
	29年	612	394	413	407	377	高知 5%
	30年	617	415	435	425	393	
	31年	644	362	396	363	342	
	5ヵ年平均	640	392	411	400	377	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	650	390	400	400	380	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。両産地ともに暖冬で前進している。3月は増量する時期となるが、概ね平年並の潤沢な入荷を見込む。気温の上昇に伴い、荷動きが良くなるため、価格も平年並で推移するか。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
ト	27年	1,100	484	501	506	451	熊本 51%
	28年	1,056	494	469	503	504	愛知 26%
	29年	1,274	339	339	341	341	三重 11%
	30年	1,451	319	340	312	308	岐阜 10%
	31年	1,245	356	347	360	364	高知 1%
	5ヵ年平均	1,225	390	392	396	386	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,300	350	350	350	350	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。暖冬で潤沢な入荷だったが、成り疲れなどから2月前半は少ない入荷となった。3月は日照時間の増加とともに増量する見込み。愛知も増量し、中旬には潤沢な入荷となるか。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
ニ	27年	388	882	887	923	833	熊本 56%
	28年	378	989	1,036	1,023	925	愛知 31%
	29年	421	739	783	758	709	宮崎 7%
	30年	536	655	705	652	620	和歌山 5%
	31年	472	723	727	731	715	長野 1%
	5ヵ年平均	439	783	814	801	748	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	480	710	800	700	690	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。年明け後は入荷が少なかったが、現状は回復傾向にある。3月は両産地ともに増量していき、順調な入荷を見込む。春商材としての需要があるため、荷動きも良くなるか。入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日現在

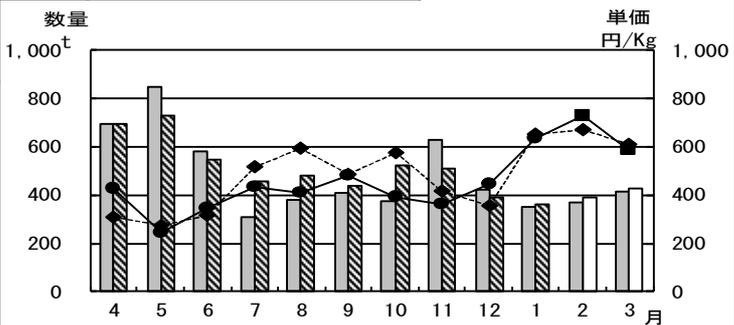
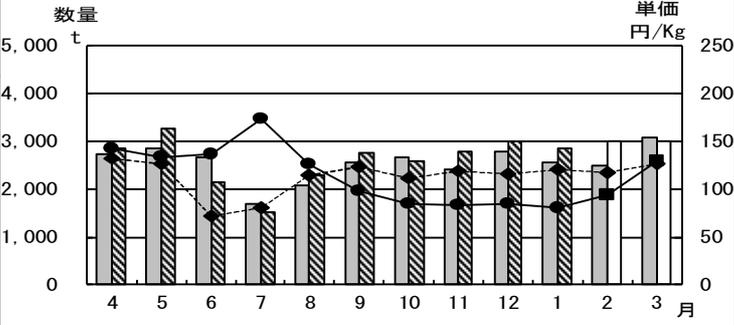
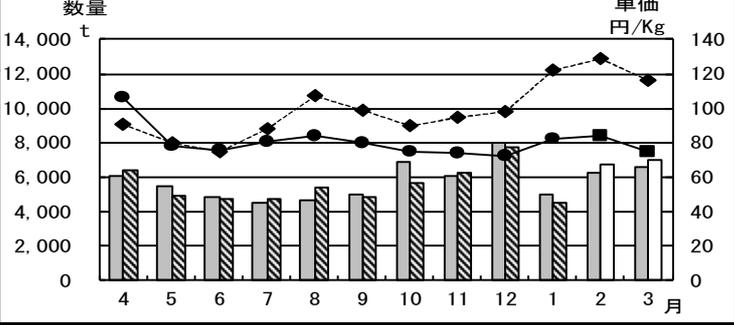
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	27年	2,759	452	461	428	高知	61%	
	28年	2,932	461	451	451	福岡	18%	
	29年	3,228	430	453	414	熊本	9%	
	30年	2,778	465	491	444	佐賀	3%	
	31年	3,050	412	420	403	栃木	3%	
	5ヵ年平均	2,949	443	454	452	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	2年見通し	3,000	410	440	400			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。1月下旬の悪天候による高知の生育停滞は回復に向かう。福岡は病害虫の発生が散見される。入荷量は前年と大きく変わりなく、相場は荷動き次第か。入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>						
ト マ ト	27年	5,883	514	538	533	479	熊本	28%
	28年	5,806	520	485	535	537	栃木	26%
	29年	6,750	372	368	378	371	愛知	12%
	30年	6,939	356	372	351	344	千葉	5%
	31年	5,965	409	407	411	409	群馬	5%
	5ヵ年平均	6,269	430	430	436	423	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	6,000	400	400	400			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知などからの入荷が中心となる。年明け以降の減り込みから徐々に回復中。各産地ともこれまでの曇天の影響から小玉傾向で推移するも、一部産地では回復にスピード感がでるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						
ミ ニ ト マ ト	27年	1,446	863	879	923	793	熊本	46%
	28年	1,470	984	1,065	998	920	愛知	20%
	29年	1,728	662	690	684	628	宮崎	9%
	30年	1,966	600	651	592	562	千葉	7%
	31年	1,757	714	696	727	716	静岡	6%
	5ヵ年平均	1,673	750	781	768	711	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2年見通し	1,700	700	720	700	680		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。日照不足により数量を減らしていたが、回復は進む。3月は早い段階での増量が見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	458	676	685	669	654	鹿児島 56%
	28年	544	622	686	632	560	宮崎 31%
	29年	632	432	489	472	390	高知 13%
	30年	567	516	619	539	432	
	31年	415	611	606	630	549	
	5ヵ年平均	523	561	611	579	506	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	430	590	590	590	590	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。2月前半は少ない入荷だったが、生育は順調。3月は気温の上昇とともに増量していき、順調な入荷となる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
							
ばれいしょ	27年	2,893	179	155	202	188	鹿児島 61%
	28年	2,686	238	221	242	255	北海道 39%
	29年	2,833	232	242	241	222	
	30年	3,017	127	139	132	113	
	31年	3,102	126	132	130	111	
	5ヵ年平均	2,906	178	176	187	175	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	3,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、北海道が中心となる。北海道の残量は概ね前年並の入荷となるか。鹿児島の新物は、徳之島産の出荷量が塩害により若干下方修正されたが、暖冬で全体的には潤沢な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>					
							
たまねぎ	27年	6,696	99	110	104	93	北海道 75%
	28年	6,691	84	86	88	85	静岡 15%
	29年	6,805	100	100	108	98	愛知 8%
	30年	7,249	99	99	109	94	アメリカ 1%
	31年	6,606	116	136	121	100	
	5ヵ年平均	6,809	100	106	106	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,000	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道中心に静岡、愛知から入荷する。北海道の残量は多い。新たまねぎはかなり前進している。静岡は前倒しした分、3月は少ないか。愛知は玉肥大が良く、4月分が前倒しされ、潤沢な入荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							

東京都中央卸売市場

2月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	27年	1,556	681	687	686	671	宮崎 34%
	28年	1,885	621	669	647	566	茨城 33%
	29年	2,126	468	490	484	443	高知 20%
	30年	1,959	552	629	554	482	鹿児島 12%
	31年	1,746	636	631	681	596	沖縄 1%
	5ヵ年平均	1,854	584	615	603	543	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,800	640	690	640	590	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、高知の西南暖地に加え茨城からの入荷が中心となる。茨城は年内の天候不順で根張りが悪く入荷を減らしたが回復中。減少した分は西南暖地からの順調な入荷がカバーし、全体では十分な数量を見込む。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
白菜	27年	7,727	159	151	162	162	北海道 52%
	28年	6,692	216	200	217	233	鹿児島 45%
	29年	7,493	225	226	231	221	長崎 3%
	30年	7,767	112	120	112	103	
	31年	7,235	114	120	115	107	
	5ヵ年平均	7,383	164	163	166	164	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	7,600	105	105	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、鹿児島中心の入荷となる。鹿児島は病害発生や作業遅延のため若干の入荷減となるも、北海道の貯蔵は十分量が確保されており不足感のない入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	27年	11,546	115	125	112	110	北海道 61%
	28年	12,722	95	96	99	92	静岡 20%
	29年	12,197	129	122	129	134	佐賀 10%
	30年	11,078	126	124	129	127	長崎 5%
	31年	10,529	133	139	131	129	中国 4%
	5ヵ年平均	11,614	119	120	119	118	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	13,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、静岡などからの入荷となる。静岡は生育が前倒しとなり、入荷量は増えるものの、切り上がりが早い。佐賀産の増加までに端境の懸念があるも、潤沢な北海道の入荷があり、相場は軟調のままか。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

2月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	8,566	389	385	393	386	青森 25%
	28年	7,322	454	460	449	455	フィリピン 16%
	29年	7,427	426	391	429	433	愛媛 14%
	30年	7,331	423	427	431	423	熊本 10%
	31年	6,850	446	415	440	454	愛知 9%
	5ヵ年平均	7,499	426	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,900	430	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、かんきつ類、りんごなどが主な品目となる。かんきつ類はやや小玉傾向のいよかんなどもあるが、平年並を見込む品目が多い。りんごは在庫量が少なく入荷減となり、いちごは順調な入荷を見込む。入荷量は前年並で、価格は平年をやや下回る見込み。						
りんご	27年	1,941	309	307	310	317	青森 98%
	28年	1,752	342	342	349	349	長野 1%
	29年	1,764	283	290	279	277	秋田 1%
	30年	1,449	334	337	330	340	
	31年	1,725	268	274	262	271	
	5ヵ年平均	1,726	306	309	305	310	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,500	310	310	310	310	
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	青森からほぼ全量を入荷する。青森の貯蔵物の在庫が少ないため、入荷量は平年に比べても減少し、価格は引き続き高め相場になるとみられる。主力のサンふじは36玉サイズが中心となる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
いちご	27年	1,155	1,098	1,206	1,208	936	愛知 60%
	28年	1,080	1,200	1,416	1,178	1,044	熊本 23%
	29年	1,050	1,163	1,158	1,191	1,150	鹿児島 6%
	30年	1,002	1,178	1,135	1,171	1,232	佐賀 3%
	31年	889	1,389	1,488	1,456	1,261	福岡 2%
	5ヵ年平均	1,035	1,198	1,275	1,234	1,115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	1,000	1,150	1,150	1,150	1,150	
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に熊本などからも入荷する。全体的に遅れ気味だったが、生育は回復しており、3月は2、3番果が順調に入荷する見通し。3月中は安定した入荷になるとみられる。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	27年	33,242	436	418	442	449	青森 22%
	28年	30,808	502	498	492	515	愛媛 17%
	29年	32,767	462	454	454	475	熊本 8%
	30年	30,633	491	502	477	493	栃木 8%
	31年	30,143	496	480	496	513	フィリピン 7%
	5ヵ年平均	31,519	476	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	29,500	480	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	りんご、中晩柑類、いちごを中心に入荷する。主力となる中晩柑類は前進傾向で、上中旬の入荷量は前年並となるも、反動で下旬は減少するか。新型コロナウイルスの影響で業務需要の停滞等が懸念される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
りんご	27年	7,203	297	288	297	302	青森 98%
	28年	6,903	329	320	331	334	秋田 1%
	29年	7,655	266	268	270	258	
	30年	6,322	328	322	331	331	
	31年	6,814	269	268	269	269	
	5ヵ年平均	6,979	297	292	298	297	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	6,100	320	320	320	320	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	夏期の天候等の影響で、ふじ、ジョナゴールドの貯蔵量は前年より少ない。王林も少なかった前年並の在庫となっている。こうした流れを受けて、価格は平年と比較して高くなる見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
いちご	27年	5,157	1,176	1,280	1,232	1,055	栃木 46%
	28年	5,344	1,238	1,346	1,259	1,147	福岡 17%
	29年	5,252	1,209	1,209	1,207	1,212	茨城 11%
	30年	5,339	1,226	1,228	1,210	1,237	静岡 9%
	31年	5,102	1,335	1,438	1,359	1,239	佐賀 6%
	5ヵ年平均	5,239	1,236	1,299	1,253	1,178	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2年見通し	5,100	1,250	1,300	1,250	1,200	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木や茨城中心にとちおとめ、福岡からあまおうなどが入荷する。1月まで少なかった入荷量は2月中旬頃から回復。3月は各産地とも、2番果から3番果へと順調に入荷される見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。						

# 切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月29日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	27年	2,036	59	
		28年	1,986	61	
		29年	2,023	58	
		30年	1,960	56	
		31年	1,868	58	
	5ヶ年平均	1,975	58		
2年見通し	1,900	55			
概要	愛知、沖縄中心の入荷となる。生育は順調で彼岸の需要期には入荷量は増えてくるが、ウエイトとしては上位等級中心の入荷が見込まれる。				
小 ぎ	実績	27年	2,438	33	
		28年	2,365	36	
		29年	2,367	35	
		30年	2,408	26	
		31年	1,820	33	
	5ヶ年平均	2,280	32		
2年見通し	2,400	25			
概要	沖縄中心の入荷となる。生育は順調。彼岸の需要期を中心に入荷は増えてくるが、18日以降は数量が減少する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	27年	1,290	51	
		28年	1,130	59	
		29年	1,499	46	
		30年	1,627	38	
		31年	1,445	46	
	5ヶ年平均	1,398	47		
2年見通し	1,400	40			
概要	愛知、和歌山、長野、輸入物が入荷する。コロナウイルスの影響も心配なさそうで輸入物の入荷は問題にならない。全体の入荷も例年並かそれ以上の入荷が予想され、需要期には問題ない見込み。				
か す み	実績	27年	272	78	
		28年	191	102	
		29年	242	81	
		30年	253	68	
		31年	230	77	
	5ヶ年平均	238	80		
2年見通し	240	70			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。和歌山については上位等級が少ない見込み。各産地前進気味の出荷となっているが、全体の数量は少ない見通し。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	27年	325	200	
		28年	295	214	
		29年	368	168	
		30年	317	177	
		31年	275	193	
	5ヶ年平均		316	189	
	2年見通し		330	170	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知などから入荷する。遅れていた高知産の出荷は多くなる見込み。鉄砲は高知、九州から入荷する。前進気味で、高知の作付減により彼岸向けは多くないとみられる。LAは埼玉、高知から入荷する。順調な生育で入荷は前年並が見込まれる。</p>				
洋	実績	27年	537	77	
		28年	579	73	
		29年	503	82	
		30年	443	85	
		31年	505	70	
	5ヶ年平均		513	77	
	2年見通し		500	75	
概要	<p>徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷する。国内産は前進傾向で入荷が増えてくると思われるが、輸入のデンファレは入荷が落ち着いてくる。需要期に入り、例年だと引き合いも強くなるが、コロナウィルスの問題による自粛ムードが懸念される。</p>				
ば	実績	27年	986	86	
		28年	938	89	
		29年	1,072	83	
		30年	898	82	
		31年	758	93	
	5ヶ年平均		930	86	
	2年見通し		950	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、輸入物を中心に入荷し、中旬以降は長野産も出荷が始まる見込み。相場はイベント次第などところはあるが、堅調な相場が予想される。</p>				
枝	実績	27年	1,736	51	
		28年	1,631	51	
		29年	1,812	52	
		30年	1,557	56	
		31年	1,538	56	
	5ヶ年平均		1,655	53	
	2年見通し		1,500	40	
概要	<p>静岡、長野中心に入荷する。桜は前年の台風により圃場に被害が出たことに加え、暖冬の影響で間延びが止まらず不作。こでまりは2週間程前進しており、3月末から4月上旬にかけては品薄が予想される。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	27年	4,811	406	
		28年	1,382	464	
		29年	6,743	306	
		30年	3,204	308	
		31年	1,141	476	
	5ヶ年平均		3,456	358	
	2年見通し		1,150	471	
概要	<p>入荷量は前年並か。鉢サイズの割合も概ね変わらず、5号鉢中心の入荷となる。価格は入荷量の減少に伴い安定。大輪のピンク・黄色の引き合いが変わらず強い。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（53.6%）、2位長野（27.6%）、3位三重（17.8%）となっている。</p>				
ファレノ	実績	27年	30,961	4,064	
		28年	33,658	3,922	
		29年	34,518	3,580	
		30年	30,161	3,643	
		31年	27,637	3,752	
	5ヶ年平均		31,387	3,791	
	2年見通し		27,500	3,764	
概要	<p>入荷量は前年並か。特にミディータイプは金額の伸び悩みにより生産量が減っている。大輪は前年並の予想だが近年ギフトで胡蝶蘭を使う需要が増えているため、3月末は品薄になる傾向がある。上中旬はミディー系、中下旬は大輪系の動きが良くなる見込み。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（54.1%）、2位宮崎（7.8%）、3位静岡（7.0%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	27年	68,327	248	
		28年	71,715	217	
		29年	67,441	196	
		30年	64,216	187	
		31年	60,318	193	
	5ヶ年平均		66,403	209	
	2年見通し		60,000	193	
概要	<p>入荷量は前年並か。但し、昨年からの暖冬の影響で前倒し出荷され、入荷増となる可能性もある。価格は安値安定が続いているが、ホワイトデーや卒業シーズンなど使用方法を見据えた商品の出荷をお願いしたい。前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（58.0%）、2位岐阜（34.1%）、3位愛媛（5.5%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	27年	82,681	246	
		28年	82,645	223	
		29年	85,668	201	
		30年	80,739	218	
		31年	66,241	217	
	5ヶ年平均		79,595	221	
	2年見通し		66,000	218	
概要	<p>入荷量は前年並か。引き合いは強いと思われるが、色・咲前などを見て相場が変動する可能性もある。下旬は品薄が予想される。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(28.3%)、2位奈良(14.8%)、3位埼玉(13.5%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	27年	85,687	174	
		28年	96,804	178	
		29年	91,370	181	
		30年	103,451	174	
		31年	76,241	199	
	5ヶ年平均		90,711	180	
	2年見通し		77,000	195	
概要	<p>主要生産者が3月の作付けを増やしているが、入荷量は前年並の見込み。鉢サイズは、3.5号ポット・4号鉢中心となる。価格面は、5号鉢以上は厳しく主要サイズが安定するため、大幅な変動はない予想。最近では、色変わり・濃い赤やピンクの品種が人気。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(22.6%)、2位埼玉(21.4%)、3位静岡(16.8%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	27年	32,282	759	
		28年	28,231	718	
		29年	27,041	629	
		30年	25,890	563	
		31年	22,345	587	
	5ヶ年平均		27,158	659	
	2年見通し		21,000	576	
概要	<p>近年の販売不振により入荷量はかなり減る見込み。デンドロビウムの需要が鉢花や胡蝶蘭に変化している。3月上旬は5号サイズまでの小鉢、3月末から4月上旬は6号以上の大きい物の動きが良い見込み。色はピンク系が好まれる。 前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(47.0%)、2位岡山(19.9%)、3位高知(18.5%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.561  
令和2年3月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434